月刊 地球基地

今月のごあいさつ



こんにちは。アースベースのノザワです。

三月の季語の中に《山笑う》というものがあります。山が笑うなんていったいなんのこっちゃとお思いでしょうが、本当にあるんですって。いえいえ、実際に山から笑い声が聴こえるわけではありませんよ。そもそも「笑う」や「微笑む」という言葉は"花が咲く"という意味があるそうです。つまりこの言葉は山に花が咲き始め、春が訪れたという事なのです。昔の人は粋な事を表現したものです。女優の武井咲さんが「さき」ではなく『えみ』と読むのはこの為なのです。(ご両親の料簡が深い!)

他、春を示すものに《水温む》とか《鰊雲り》など情緒あるものから、《カボチャ》や《アスパラガス》等の野菜類、《イソギンチャク》に《猫の恋》なんてなものまで。いやぁ、日本語って本当に面白いですねぇ。

ユメの後押し

2月某日、都立特別支援学校の生徒さんが来られ、見学会がアースベース所内で行なわれました。未来ある若者の将来を担うかもしれない大切な日、気の込めた"おもてなし"を用意しました。

プレゼンソフトで当所の概略を説明し、ムービーで仕事 や所内の様子を紹介した後、見学班と体験班に分かれます。 見学班は当所のメイン事業である看板製作を間近で見てい ただきました。このように作られているのだという事がわ かっていただけたと思います。

体験班は「カッティングシート抜き」にトライしてもらいました。生徒さん一人一人の名前を切ったシートを自分で抜いて、プレートに貼ってもらうという作業体験です。そしてこの作業が曲者なのです。簡単に見えてこれが結構難しい。きっと悪戦苦闘するだろう…と思いきや、向いている方は向いているのですね。簡単に抜いてしまう方がいるのです。監修や手助けとして立ち合った我々所員一同感心しきり。引率の先生の方が「…!!?」と悶えていたほど(笑)。

高校生くらいの年齢は時に未来が漠然とわからなくなります。不安の大小や色の濃度、高さ深さはそれぞれです。 そんな所に光を射させて道の在りかを教えてあげるのは





我々の役目でしょう。もしもこの事がきっかけで未来へ進む不安を払拭できたなら、我々もこの上ない喜びになります。なによりも、皆さんの未来が素敵なものになる事を願っています。会の最後に生徒皆さんから感謝の言葉をいただきました。いいえ、よい経験をさせてもらったのはこちらも同じです。こちらこそ、ありがとうございました!













輝ける日のために

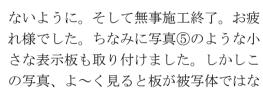
アースベースは看板屋です。様々なジャンルの看板やサイン、 ポスターなどを製作しています。企業さんはもちろん個人さんの 依頼も喜んで受け付けています。遠慮なくどうぞ!

今回お仕事をさせていただいたのが都立城東職業能力開発センター江戸川校さん。

施工人は当所の精鋭5名。腕と経験によって磨かれた技術と印刷・加工された各種看板材料を小脇に抱え(正確には自動車の後ろに乗せて)、いざ同学校さんへ。『東京都立城東職業開発センタ

一江戸川校人材育成プラザ』と刻まれたメタリックな表札がお出迎え。"こういうのも作れるのだぞ~"と意匠を想いながら施工現場へ。奇麗な校内、見惚れながら作業開始。「安全第一」を始め(写真②)、各科の案内表示の取付け。屋外班はコ

ース案内(同①)から車椅子用エレベーター案内(③)。実はこれ、地面にゴムハンマーを使ってトントンと直接貼り付けているのです。地味だけどこういう貼り方をしています。屋内班はエレベーター表示や学科案内を各階に取り付けに行きます。それぞれ施工が完了すると、確認として最終チェックと施工写真撮影。もちろんぬかりの



く、ガラスに写り込んだ施工メンバーが主役 になっていたりします(笑)。

看板やパネルとは皆が目にしています。そ

の主体は案内や広告にしか使われず、看板は 看板、表示は表示であり、決してその作って いる人などを気にしないのが現実です。看板 を目立たせるためのライトこそ浴びても、ス ポットライトが当たる事はないでしょう。し かし気がつかない分からないものこそ看板や サインなのです。そんな彼等を輝かせる事に、 誇りをもって取り組んでいます。密やかでも

美しく。これからもそんな想いを持って取り組んでいきます。









編集後記

今月も拝読ありがとうございます。三寒四温をようやく越えて、ようやく春になったでしょうか。 それでもまだ上着の襟を立てる日がたまにあります。新年度はもうすぐそこです。どうぞ体調に気を付けてください。

【月刊地球基地】 発行人:一般社団法人 EARTH BASE 健常者と障がい者が一緒になってサイン・看板・ポスターなどを製作しています。

〒132-0034 東京都江戸川区小松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL: 03-5875-5941 FAX: 03-5875-5942 mail: info@earth-b.jp URL: http://www.earth-b.or.jp/